

2020年教育改革とは？

“戦後最大の教育改革”と呼ばれる2020年の教育改革では今までの受身的な知識重視の教育から能動的な学習＝“アクティブラーニング”が重視されるようになりました。

文部科学省は教育について以下のように定義しています。

「教育とは人格の完成をめざし、平和的な国家及び**社会の形成者として**、（以下省略）心身ともに健康な国民の育成を期すること。」（参照：文部科学省教育基本法第1条）

つまり社会で活躍出来る人材を育成することが、教育の目的の一つだと言えます。

現代社会は常に変化しており、特にここ数年は劇的な変化が見られるのではないのでしょうか？リモート〇〇という言葉をよく耳にするようになったり、キャッシュレス決済や情報の得方も変わってきました。

社会が変化すると、求められる人材（社会の形成者）や必要な知識・能力も変化します。

そこで、2020年教育改革では**社会の変化に応じて、教育の内容を変えること**が挙がっていますこれを踏まえ、保育園では小学校以降の教育を見据えて『これからの学びに向かう力・生きる力の土台づくり』を、遊びを通して伝えています。

例えば日々の生活の中では

- ・これはなんだろう？と興味を持つ
- ・(自ら)やってみたいな、知りたいなと思う力
- ・知っている事柄を他の出来事と結びつける力
- ・他者と協力して物事に取り組む力(共同性)、そして、自分の意見を相手に伝える力

を大切にしています。

これらはアクティブラーニングによって育まれると言われています。

子ども一人ひとりがやりたいことに没頭できる時間と環境を整え、選べる活動を計画する…

子ども達の育ちを見ながら、子ども達が自主的に物事に関わられる保育を行う。

つまり『子ども主体で、能動的な学びが出来る』ことを意識しています。

その中で『みんなで一緒にする時間』と『個々で集中する時間』も両方を織り交ぜながら過ごしていけるよう考えています。

日本の教育も少しずつ変わってきているので、私達職員も研修などで学び、アップデートしています。活動の様子や園での取り組みは、ブログや園だより等でお伝えしていきますが、活動で疑問に思われることがありましたら、いつでもお声がけください。

保護者の皆様も、このアクティブラーニングを意識した関わりをしてみてくださいませるか？

難しいことではなく、普段ご家庭でもされていることかと思えます。

例えば、子どもが見つけた物や気づいたことがあれば『本当ね、よく気が付いたね』など、受け止めて言葉を返す、これだけです。

散歩しながら『むしがいた！』との子どもの声に『本当だね、夏の虫だね』とか『虫、いたね。セミだね』など知っていること、気づいたことを一言添えると、子どもの好奇心や想像力がさらに広がります。

子どもは会話が続けると、大人が発した語彙を聞き、言葉が豊かになり、考えも発展していきます。

これこそがアクティブラーニングですね。

(北嶋)